



生涯学習にいがた

No. 76 平成21年3月13日

特別講演会 映画監督山本晋也が語る『しんやの映画人生よもやま話』

県立生涯学習推進センターでは、2月28日(土)に映画監督やテレビコメンテーターなど多方面で活躍されている山本晋也氏を講師に招き、特別講演会を開催しました。

『しんやの映画人生よもやま話』という演題通り、笑いを交えながら、講師の少年時代の話を中心に多様な話題について語っていただきました。講演の概要は以下の通りです。



- 終戦後の青空教室
弁当を友人に分けてあげようとしたが、断られたエピソード。
友人のプライドから社会性を学ぶ。
- 祖母との関わり
ジョンウエインの西部劇を見せてくれたエピソード。映画好きになるきっかけに。
空襲が無くなり、人も死ななくなると終戦を素直に喜んだエピソード。平和主義者になるきっかけに。
明治(偉大な時代)流の礼儀作法を学ぶ。中学入学時に、「男にも貞操がある。」と教えられたエピソード。
- 母との関わり
働く女性が珍しい当時、通信省で和文タイプを打っていた。大正(芸術の時代)流の丁寧な礼状が書ける人。
松竹歌劇に連れて行ってくれ、その合間に映画を見たエピソード。
- 父との関わり
筋は通す人。
友達と映画をタダ見しようとして自分だけ捕まったエピソード。「友達を売らなかったのは良い。」と評価される。
- 早稲田中学入学の理由
映画クラブに惹かれて入った。(当時、小中学生は1人で映画を見るのが許されなかった。)
映画クラブに入れば、たくさん映画を見られる。映画館の人とも仲良くなれる。
- 子ども・娘との関わり
『笑っていいとも』で、子どもに「どうしてゴミ捨て場なのに夢の島っていうの？」と問われたエピソード。
何を質問されても答えられるよう、今でも学んでいる。「大人になれば分かる」とごまかすのはダメ。
娘がイギリスに留学するとき、「自分の望まない妊娠はしないように。」とアドバイスしたエピソード。
アラサーの女性(娘)に言ってはならない3つの言葉。「就職しろ」「結婚しろ」「孫の顔が見たい」
- 地域の大人との関わり
当時、東京では富士登山をしないと男とは認めてもらえなかった。
富士山を1合目から1日かけて8合目まで登ったエピソード。帰ってきたら、近所のおじさん達の態度が違う。
- 映画監督の目から見る政治家
立川談志は、状況を把握できない者はバカだと定義している。
ベテラン女優菅井さんは、カメラのレンズだけは正直なので、未だに怖いと言う。
小泉元首相は役者。見られることを意識していた。
中川前財務相は、カメラで撮られるという状況を意識していなかった。レンズの怖さが分かっていない。
- 映画のタイトルは奥が深い
『怒りの葡萄』 社会派の映画。欧米の人たちの葡萄作り、ワイン作りに対する概念。なぜ葡萄が怒るのか。
他にも、『クレーマー(VS)クレーマー』『独裁者』『風と共に去りぬ』等々。
- 修行について
何かを成すには、何かを絶たねばならない。
十分な人生ではなく、物質的に何か足りないものがあることがよい。
いつも目一杯なのではなく、どこか一部辛抱する要素があると良い。
満腹の人は、もうそれ以上埋めようがない。
どこか、入れる余裕のある精神構造が大切。



社会教育主事講習(B)

平成20年度社会教育主事講習(B)が1月19日(月)～2月25日(水)の38日間、受講者20名(うち分割受講者12名)で行われました。

この講習は、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターを主会場として、新潟県立生涯学習推進センター、静岡県教育会館、島根県立生涯学習推進センター、島根県立西部生涯学習推進センター(島根県2カ所)を受信会場にインターネットを結んで行われました。当センターでの講習は7年目となります。

昨年度は、6名の受講(うち分割受講4名)と極めて少人数でした。そこで、県内の大学にパンフレットを作成し持参したりいくつかの市を回らせてもらったり、「分割講習」ができることを強調しました。そのためか「今まで受講しなかったが、なかなかまとめて休みは取れなかった。分割であれば受講したらとの上司の声で、今年度受講ができませんでした。」との声も多く聞かれました。



開講式の様子

約1ヶ月以上の研修は時間的に無理な方が多いと思います。しかし、この講習会は「社会教育概論」「社会教育計画」「社会教育特講」「社会教育演習」の4つの科目からなっています。これらを分割で1年に1科目ずつ約1週間ずつ受講することも可能です。何年かかっても4科目取得できれば社会教育主事としての資格が取得できます。必要を感じている人たちや市町村の方々、新潟で受講できるという利点を生かし参加してほしいと願っています。

さて、今年度の受講生は積極的でした。本会場にいる講師にFAXでの質問ができます。多い時は3名以上の質問が新潟会場からあり、本会場の人たちの質問時間が無いほどでした。また、講義内容が十分理解できないときはホワイトボード前に各自のノートを持ち寄ってまとめる。科目終了後に出されるレポート課題も必要と思われる内容を書き出す等、素晴らしい学習ぶりでした。



レクリエーション活動の様子

さらに、宿泊研修での生涯スポーツやレクリエーションの講習では、本当に小学生に戻ったかと思うほど、素直に自分の気持ちのままに動いていました。そのためか、翌日しゃがもうとすると「いたた。」と思わず声が出た人も沢山いました。

このような講習でしたので、生涯学習・社会教育を推進するための資質を向上したことは勿論、同期という仲間作りもできたと感じています。新潟会場は次年度も申請を出し開催する予定です。今から1月後半から1ヶ月間のまず1週間、やりくりして受講できるよう計画してはいかがでしょうか。

例年、10月下旬頃に各市町村教育委員会に要項が届きますので、ご覧ください。



生涯スポーツの実際

新潟県内の生涯学習取組事例集(平成20年度版)について

県立生涯学習推進センター

県立生涯学習推進センターでは、県内の様々な取組事例を紹介して、市町村・関係機関の事業推進を支援することを趣旨とした「学習プログラム事例集」を作成しました。

県内各市町村や当センターを含め、県内の生涯学習関係機関(団体)等が平成20年度に力を入れて取り組んできた多くの事例(講師情報も含め)が掲載されています。

県内各市町村及び生涯学習関係機関(団体)へ送付します。来年度事業の参考に御活用ください。

また、活用後の取組の様子等もお知らせください。今後の参考にさせていただきたいと思っていますので、御意見・御要望もお寄せいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、プログラム事例集を御希望の(活用いただける)方は当センターに御連絡ください。

※ プログラム事例集は、当センター「生涯学習資料閲覧室」で自由に御覧いただけます。

また、当センターホームページ「ラ・ラ・ネット」にも掲載されています。

http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/jireisyu/20nendo/jirei_20nen.html

○ 20年度掲載事例

(1) 地域学習に関すること

鯛車制作教室／亀田郷／北越雪譜の魅力／長岡藩の文化展／八幡林官衙遺跡と古代のながおか／三十稲場式土器とその時代／縄文インストラクター養成講座／乙川優三郎『露の玉垣』を読む／埋蔵文化財による小学校出張授業／地名に学ぶふるさと新発田／豊浦ふるさとかるた／まちの駅講座／新市見聞

(2) 子育て・青少年教育に関すること

早寝早起き朝ごはん推進事業／知って得する子育て発見ツアー／青空ぼうけん塾／わくわく子育て教室／あさひウィークエンドスクール／ワクワク探検隊／妙高フレンドスクール／赤ちゃんふれあい体験講座／謙信KIDSスクールプロジェクト／立志元服式／子育て講座／川口町通学合宿／家庭教育講座

(3) 文化・芸術活動に関すること

お出かけシアター／市民ギャラリー／紫雲寺地区芸能音楽発表祭／湯沢町総合文化祭

(4) ボランティア活動に関すること

ブックスタートボランティア養成講座／諸橋轍次記念館施設ボランティア養成講座／とおかまち市民楽校／読み聞かせボランティア養成講座／団塊世代の社会参加事業

(5) 趣味・教養を高める活動に関すること

海牛化石速報展／クワガタ・カブト、世界の甲虫展／不思議なきのこの世界・冬虫夏草／にいがた連携公開講座／富久寿大学／初心者古文書読解講座／つばめ笑和大学／燕大学／五泉市民大学講座／うおぬま市民大学／ゆめをかなえる!マネープラン!!／雑草観察会

(6) その他の特色ある取組

フランスセミナー／赤毛のアンの世界へようこそ／男の料理教室／阿賀野市生涯学習ガイド「まちの達人」作成／日本語交流ひろば／田上町地域安全マップづくり講習会

(7) 県関係の事例

県教育庁生涯学習推進課／県教育庁上・中・下越教育事務所社会教育課／県立図書館／県立生涯学習推進センター／県立文書館／県立青少年研修センター／県少年自然の家／県立近代美術館／県立歴史博物館

(8) 研修会等講師情報

いきいき県民カレッジ —今年度も皆さん頑張っています—

「いきいき県民カレッジ」は、平成4年度のスタートから今年度(平成20年度)で17年になります。この間、各市町村をはじめ、大学・短大等の高等教育機関、財団・社団法人等多くの参加をいただき、その機関数は年間77機関、登録講座数は年間1,629講座(平成20年1月末現在)。受講者数は昨年度実績で年96,000名以上(今年度は未確定)、昨年度までの16年間で延べ720,000名を超えています。また奨励賞の受賞者も、スタートからの累計で延べ8,700名を超えました。まさに「県民カレッジ」というに相応しい、一大事業と言えましょう。

今年度の印象として感じられることの一つは、大学等の公開講座の登録が多く見られたことです。県民の方々の生涯学習ニーズにきめ細かく応えていくためにも、このような傾向が今後も続くことを期待します。

来年度もさらに多くの機関等の参加が増え、「いきいき県民カレッジ」が県民の多くの皆様の学習に寄与することが望まれます。

平成21年度春号の発行予定は、**4月下旬**の予定です。



センターホールが名画座に!
映画・ビデオ鑑賞会
 ～ホール『全席』無料開放～

センター所蔵の貴重な映像を、平成11年度から県民に公開しています。ホールの大画面で、じっくり鑑賞できる『学びのひととき』を提供しています。月1回はご家族で、ぜひ「学びゾーン」の生涯学習推進センターにおいでください。

- ◆ 3月22日(日) 13:00～15:00
 《太宰の名作を!》
 「走れメロス」 ・1992制作、アニメ、107分
- ◆ 4月26日(日) 13:00～14:10
 《あなたなら、どうしますか?》
 「夕映えのみち～インターネットによるいじめ～」
 ・2006年制作、38分
 「大地震の経験を生かして」
 ・2007年制作、20分

- 入場無料、申込不要、先着順(186名)
- 会場: 県立生涯学習推進センター・ホール
- 詳しくは、センターホームページをご覧ください。
 (http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/)

※ 事情により内容を変更する場合があります。

新潟県立青少年研修センター
平成21年度5月主催事業の案内

「越前浜チャレンジセミナー」
第1回 レクリエーション編

- 日時: 平成21年5月16日(土)～5月17日(日) 1泊2日
- 場所: 新潟県立青少年研修センター
 〒953-0012 新潟市西蒲区越前浜5597-1
- 内容: レクリエーション実習をとおして
 基本的な指導法を学ぶ。
- 定員: 30人
- 対象: 18歳以上の青年
 青少年指導者等(高校生を除く)
- 費用: 1人 2,500円(予定)
- 申込期間: 平成21年5月1日(金)
- 申込方法: 電話にてお申し込みください。
- その他: 内容の詳細については、
 必ず電話にてご確認ください。
- 問い合わせ: 県立青少年研修センター 研修課
 TEL: 0256-77-2111

さわやかメ〜ル

今年のNHK大河ドラマ「天地人」が、視聴率も高く人気があった昨年の「篤姫」を上回る視聴率を維持し好調な滑り出しのようです。番組の最後に新潟県内等の各地が紹介されますが、身近な地域だけにときめくのを感じます。聞くところによりますと、直江兼続や上杉謙信・景勝等のゆかりのある地域では、観光客も多く訪れるようになってきており、新潟県にとりまして大変喜ばしいことでもあります。

さて、殺伐とした事件が多発したり、身勝手な考えや勝ち組・負け組などの価値観が横行したりする現代の世相を考えますと、“愛と義”に生きた直江兼続の精神が日本中の人々に見直され、愛と義の旋風が巻き起こることを期待しています。それを我が郷土から発信できることを誇りに思っています。

● 新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

http://www.lalanet.gr.jp/
 携帯版は、http://www.lalanet.gr.jp/m

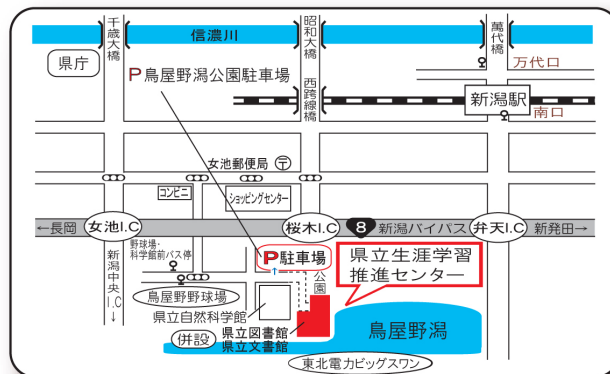


● 家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

● 生涯学習相談・情報提供「ちょっとおしえてコール」

TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp



新潟県立生涯学習推進センター 新潟市中央区女池南3-1-2 TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019
 (URL) http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/ (e-mail) nlpc@mail.lalanet.gr.jp